

041 室町時代 政治史⑥ 倭寇

① 明建国

洪武帝 朱元璋 が建国
久しぶりの漢族王朝復活。

→ 中華思想 復活。

貿易とは対等な国どうしでやるものだから
明が海外と貿易はあり得ない。

∴中国商人の海外貿易を

禁止する 海禁政策 実施。

→中国商人の生活を奪う結果。

② 高麗 の衰退

元の長い支配で疲弊

③ 南北朝の動乱の日本

あ 海禁政策で海から中国商人が消えた

→ 代わりに日本が貿易だ！

い 高麗が疲弊しているから、

朝鮮に行けば略奪が容易だ！

う 三島(対馬・壱岐・五島列島)
山がちで米不足の島々。交易で生活

〔高麗の取調べ〕なぜ略奪したのか？

元寇(ムクリコクリ)の復讐だと供述

え 九州…例外的に南朝が優勢な地域。

懷良親王 が征西將軍府を開いて

九州支配。→明の倭寇討伐要請拒否。

倭寇を働いて軍資金を得ていたか

あ 前期倭寇 …交易の道を絶たれた三島の人々

- 地理的に近い朝鮮を中心に、
朝鮮から米や人を略奪、中国と密貿易。
- 勘合貿易が始まったので、
倭寇をやる必要がなくなり、収束した。

い 後期倭寇 …三島倭寇2割、中国人8割

- 勘合貿易が断絶 したため再び盛んに。
- 朝鮮ではなく中国南部が中心。特に福建省。
農地が少なく、
交易に乗り出す。
- なぜ朝鮮より日本から遠い中国なのか。
後期倭寇の8割は海禁を破った中国商人
- 首領…国外の五島列島に拠点を置いた
中国人の王直。五峯と号した。

1543年『鉄砲記(1625年著)』

種子島の家臣織部丞が浜辺に出てきて、偶然に
五峯と出会い、杖(つえ)で砂の上に文字を書いて尋
ねた。

「船中の客はどこ国の人ですか。顔形といい、と
ても変わった人たちですが。」と。

五峯はすぐ砂に返事を書いた。

「この者らは西南蛮種の商人です。細かい礼儀作
法については知りません。酒をラッパ飲みします。
文字で意思を伝えあうこともできません。ただ怪
しむような者ではありません。仲間です。一人は
牟良叔舎であり、もう一人は喜利志多侘孟太とい
います。」と。

③ まとめ 倭寇とは

中国・朝鮮・日本人、ポルトガル人などか
らなる、日本の対馬・壱岐・五島列島を根
拠地とした、人種・民族を超えた武装商人
集団。明の海禁政策で交易の道を絶たれ
たため発生した。

④ 前期倭寇と後期倭寇